

活動報告（8月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：JAとぴあ浜松馬鈴薯部会にて個人面談が実施されました
日時：令和7年8月28日（木）、29日（金）
場所：静岡県浜松市中央区三方原

8月28日、29日に、JAとぴあ浜松馬鈴薯部会にて、今作の栽培の振り返り及び次作へ向けた対策の指導を行うため、部会員を対象とした個人面談が実施されました。

JA職員により毎年実施されているもので、栽培以外にも後継者の有無や5年後の面積の拡大・維持・縮小といった意向、今後の設備投資の意向などについても面談の中でアンケートをとり、把握を行っています。

JA職員のほか、農林職員も情報収集のため、参加しています。

今年の作付け（1月～7月の作付）を振り返ると、5月に曇雨天が続いた影響でやや徒長気味となったものの、日照と降雨に恵まれ、6月上旬までは概ね生育は順調でしたが、6月中旬以降の暑さにより、最終的には芋の腐りが多発してしまいました。

産地では、栽培期間を前倒しにするなどといった対策を近年行ってきましたが、今年はそれでも対応しきれませんでした。

次回の作付けに向けて面談では、樹勢の強い品種を6月以降の作型に使用する、地温抑制の高いマルチを推奨するといった助言や指導がされていました。

西部農林事務所では、今後も産地や高温対策に関する情報を注視し、産地支援につなげていきます。